

2011年度の総括

今ありとあらゆる分野においてパラダイムシフトが起こっている。従来のようなスキームや仕事の進め方が通用しない時代になった。かつて日本政府は円借款とか ODA 政府開発援助を通じて途上国から非常に評価された時代もあったが今その見直しに迫られている。

国境を越え人・物・金・技術・情報が迅速に移動するグローバルな時代を背景に政治・経済の面で新興諸国が台頭している結果、国際的な資源や市場の獲得競争が激化しつつあるからだ。途上国の開発支援問題に関する限り先進国中心の時代は終わったとみるべきであろう。日本の国際社会におけるプレゼンスも相対的に地盤沈下し、最近その支援の枠組みや仕方に変化が起きている。

グローバリゼーションが加速化するにつれ官民の持つ全てを結集したオール・ジャパン体制への移行が典型例と言えそうだ。民間企業だけの世界戦略にはおのずと限界があり、官による後方支援なくして国際競争に勝てない多くの国際的な実例がそれを如実に証明している。しかし全て相手国あっての事である。会員企業が経営基盤とする伯国との真の戦略的パートナーシップなくしてオール・ジャパン体制は機能しない。我々会議所には両国政府の潤滑油としての役割がある。

伯政府との本格的関係強化の年

2011年1月1日ブラジル史上はじめての女性大統領が誕生、前日の大晦日に麻生元総理が率いる特使一行がブラジリアインした。在ブラジル日本大使館からの要請を受け、特使一行とリオサンパウロ間の高速鉄道の国際入札状況や日本が協力できる効果的な分野について意見交換。その後、新政府から新閣僚や中銀総裁および社会経済開発銀行ならびに公社の総裁等、家族や友人・知人等が一同に集まる大統領官邸貴賓室に招待を受け、1月1日のジルマ・ロッセフ大統領の就任式やイタマラチ主催の祝賀会に出席した。

また1月末、ブラジル開発商工省（MDIC）の事務次官を特別訪問、過去4回に及ぶ日伯貿投委の進捗状況やその成果などを報告の後、次回第5回目日伯貿投委バイア州開催に向け継続的に発展させて行くための意見交換を行った他、同貿投委に続き行われる第14回目日伯経済合同委員会（経団連/CNI 共催）に大統領や関係閣僚の出席を要請。さらに MDIC 所属の貿易審議会（GAMEX）局長を訪問、ブラジルの為替政策の動向や日伯貿易改善について意見交換を行った。（8月の定例昼食会に講師として招待）

11月初旬、ブラジリアの法務省および外務省を訪問、外国人登録（RNE）発給の迅速化に関する改善陳情書を外国人局および移民局のトップや顧問に手渡し、発給遅れによる経営上の深刻な状況を説明、迅速な善処と改善を要請、併せて法務大臣の定例昼食会参加もお願いした。

部会・委員会セミナーやシンポジウムの内容に変化

今年の部会・委員会活動の中で特筆すべき点は金融部会、財務委員会、総務/企画戦略委員会が中心となって欧州のソブリン危機をかなり意識したセミナーやシンポジウムを開催したことにある。

2月の部会長シンポジウムに先駆け、金融部会は三井住友銀行ニューヨーク支店経営企画部金融調査室の室長代理を招いて「2011年の世界経済・金融の行方」についてセミナーを開催。

総務委員会/企画戦略委員会主催の上期の部会長シンポジウム（2月開催）に於いては元日銀副総裁で現在大和総研の武藤理事長を招いて「日本経済の現状と今後の展望」と題して基調講演を行い部会長シンポジウム開催要領に新風を吹き込んだ。

日本経済の経験から将来のブラジル経済を示唆する意味深長な基調講演の中でも、世界経済の構造変化として新興国の台頭、リーマンショックとグローバル金融危機、先進国のデフレリスクと新興国のインフレリスクに加え、欧州ソブリンリスクについて強調。

また財務委員会は9月昼食会のゲストに三菱東京UFJ銀行ロンドン支店欧州市場部からシニア・カレンシーエコノミストの専門家を迎え、同専門家は「グローバル経済の現状と当面の為替相場見通し」と題して講演、欧米における「ジャパニゼーション化」やヨーロッパ債権問題では「悲観予想そのものが危機を引き起こす」と警鐘。

2月の部会長シンポジウムではコンサルタント部会長から選挙戦で公約した「ジウマ政府の目指す税制改革」と手厳しい緊張感溢れる中味のある発表があった他、8月の「上期の回顧と下期の展望」のシンポジウムでは部会長の多くが単なる報告型の発表から問題意識型へと変化。

会議所とJETRO/JICA/JBICが一体となって活動、特に経産省が後方から支援強化

JETRO サンパウロが企画した中味のある効果的なセミナーや意見交換会の開催頻度は史上最高を記録。背後から特に経産省の迅速かつ強力な支援があり、また日伯貿易投資促進合同委員会（日伯貿投委）で取り上げたテーマが着実に前進しており手ごたえを実感。

BOP (Base of the Pyramid) ビジネスセミナー、米国セミナー、南米三ヶ国セミナー、ジェトロ役員との懇談会、コロンビアセミナー、経済産業省の通商政策局・通商機構部・国際紛争対策室係長・中南米室と会議所間系者と意見交換会、ブラジル・リチウムセミナー、ジェトロ・インフラビジネス・ミッション（開発商工省共催セミナー）、ジェトロ・インフラビジネス・ミッション（サンパウロ州政府共催セミナー）、ジェトロ・インフラビジネス・ミッション（FIESP 共催セミナー・商談会）、JETROが商談視察ミッション（省エネ、新エネ、環境分野の技術・製品のブラジル展開を考えている企業向けにグリーン・エネルギーと環境技術をテーマに日伯ビジネスフォーラム・商談会）、ブラジル真贋判定セミナー、知的財産保護に関する勉強会など多数開催。

特徴的なのは上期、一方的にアルゼンチン側がセンシティブ品目の急激な輸入増加から国内産業保護を目的とした非自動化輸入ライセンスを発効、対してブラジル政府の報復的な措置の渦中において会員企業が困難極まる状況下、緊急アンケートによる実態調査を行ったが、調査の結果が纏まる頃には経産省の関係部署の担当官等が来所し、迅速に情報収集を行い関係者と協議をした後、両国政府へ働きかけた

事だ。

一方、JBIC（国際協力銀行）は進出企業を資金的な面から支援する業務説明会 ①輸出バンクローンの概要と活用方法/②ブラジル連邦政府・州政府関連プロジェクトへの支援/③環境改善事業における日本のビジネスチャンスや業務説明会の第2弾として「日伯インフラ事業向けリアル建てファイナンスに係るJBICとBNDESとの協調」についてもセミナーを開催。

また国際協力機構（JICA）の海外邦人安全対策連絡協議会は「交番システムに基づく地域警察活動普及プロジェクト」をサンパウロ総領事館の警備・安全対策担当と共に「最近の治安情勢と郊外農村地域における治安対策」についてセミナーを開催。

特に国際セミナー『モザンビークアグリビジネス 日伯連携協力と投資の機会』（ブラジル外務省国際協力庁ABC、同省貿易促進部DPR/MRE、国際協力機構主催 ブラジル農牧研究公社（EMBRAPA）及びブラジル国家農業連合CNA後援）や当所環境委員会及びJICA共催によるサントス地区下水処理場見学会には会員が大勢参加し賑わった。さらにトカンチンス州投資誘致セミナーには企画戦略委員会、特命担当委員会の他に同州政府及び国際協力機構（JICA）が共催の形で参加した。

本省からの支援強化を梃子にJETRO/JBIC/JICAが、これ程までに会員企業の支援や協働一体となって取り組んだ年は、過去の歴史の中でも極めて珍しい。9月ドイツ商工会議所は本国のディルク・経済協力開発大臣を招き懇親会を開催、同大臣はリサイクル可能エネルギー関係の専門家2名を同会議所に派遣する約束を表明、支援の仕方こそ違いが国際競争に勝ち抜くために官民連携は至極当然の時代になった。

日メルコスールEPA協定に向けた勉強会

在ウルグアイ日本国大使の呼びかけ（7月の定例昼食会）で投資先としてのウルグアイにも注目、ウルグアイ日本大使館公邸で日本との外交樹立90周年を記念に開催したウルグアイセミナーには特命担当委員長、日伯経済交流促進副委員長など約30名が参加、日メルコスールEPA協定に向けた勉強会の第1歩と捉えたい。

バイア州サルバドールで第5回日伯貿易投資促進合同委員会/第14回日伯経済合同委員会を開催

第5回日伯貿易投資促進合同委員会（日伯貿投委）：8月8日（月）

「貿易と市場アクセス」、「投資促進」、「JETROビジネスミッションの準備状況について」、「貿易促進」、「ビザ関連」、「技術移転」、「移転価格税制」、「特許庁間（JPO-INPI）協力」、「ビジネス環境整備に関する総括」、「各種協力」ではデジタルTV放送システム普及に関する協力、中小企業協力、研修制度の受入、専門家の派遣、企業のインターシップ、留学生の交換などについて説明。また「JBICの協力」、「JICAの協力」、「JOGMECの協力」の進捗について報告。

ビジネス環境整備に関する総括では讃井経団連常務理事はビザの有効期間延長の要請でサイン寸前である状況を説明、並びにブラジル人に対するビザ発給の迅速化、二重課税の抜本的解決の租税条約改定への協力、移転価格税制（TP）に対する会議所の要望受入などを挙げた。

マスカレーニャス C N I 副会長は会合を重ねるごとに関係が良くなってきており、今後の環境ビジネス改善や双方の問題解決に楽観的になっていると述べた。大前経団連日本ブラジル経済委員会企画部会長がブラジルの天然資源、エネルギー、食糧、都市交通などのインフラ整備や環境分野で協力が可能で日本と補完関係にあり、また一層のビジネス環境改善がこの委員会で進展している点を大きく評価、移転価格税制、技術移転、ビザなどで改善成果が上がることを期待したいと述べた。

またガルボン 駐日ブラジル連邦共和国特命全権大使は日本からブラジルへの投資は“ブラジル再発見”の様相が濃いと強調。三輪在ブラジル日本国特命全権大使は委員会では真剣に話し合っているのが心強く、日伯の補完関係を改めて確認、日伯関係が加速化していく可能性が大きいと満足。岡田経済産業審議官はテイシェイラ次官の力強いリーダーシップで良い議論ができて、二国間の協力関係が直実に進んでおり、マスカレーニャス C N I 副会長の地元で開催できたことに感謝を述べた。

最後にテイシェイラ 開発商工省次官は経団連/パイア州工業連盟の合同委員会は非常に議論が活発に行われ、いろいろな問題解決で協力、両国は益々国際社会で重要になってきており、現在の日本からのブラジルへの注目はガルボン駐日ブラジル連邦共和国特命全権大使が述べた日本の“ブラジル再発見”であると結んで、第5回日伯貿易投資促進合同委員会プレナリー会合は成功裏に終了。

第14回日本ブラジル経済合同委員会：8月9日、10日

第14回日本ブラジル経済合同委員会が2日間に亘ってパイア州工業連盟講堂に250人が参加して開催、日本から経団連の飯島彰巳日本ブラジル経済委員長、同委員会の大前孝雄企画部会長、三輪駐ブラジル大使、讃井暢子常任理事などブラジル開催で日本側参加者としては史上最多の120人以上が参加。

8月9日（火）

マスカレーニャス・ブラジル全国工業連盟(CNI)ブラジル日本経済委員長/飯島経団連日本ブラジル経済委員長/ホブソン CNI 会長/ワグネル・バイア州知事挨拶/ガウヴォン駐日ブラジル大使/菅総理メッセージ代読（三輪駐ブラジル大使）等が各々挨拶。

「日伯関係の展望」

モデレーター：ジョゼ・アウグスト・コエリョ CNI エグゼクティブ・ディレクター

1. ルシアーノ・コウチーニョ BNDES 総裁、
2. カルロス・マリアーニ・ピテンコート CNI ディレクター、
3. 村田俊典ブラジル三菱東京 UFJ 銀行頭取、
4. 近藤正樹 ブラジル日本商工会議所会頭

〈専門セッション1〉「天然資源・エネルギー」

モデレーター：マスカレーニャス・CNI ブラジル日本経済委員長

1. ムリロ・フェヘイラ Vale 社社長、
2. ジョゼ・セルジオ・ガブリエリ Petrobras 社社長、
3. 阿部一郎 住友金属鉱山副社長、
4. 嶋島元佳 トーヨー・ド・ブラジル社長

〈専門セッション2〉「インフラ」

モデレーター：大前経団連日本ブラジル経済委員会企画部会長

1. ハルフ・リマ・テッハ ABDIB 副会長、2. ベネジクト・バルボーザ・ダ・シウヴァ・ジュニオール Odebrecht 社社長、3. 堀口幸範 三菱重工業執行役員グローバル戦略本部副本部長、4. 星文雄 国際協力銀行(JBIC)副経営責任者

8月10日(水)

〈専門セッション3(分科会)〉「環境技術と再生可能エネルギー」

モデレーター：ロベルト・ジアネッチ サンパウロ工業連盟国際問題・貿易部ディレクター

1. ジョゼ・カルロス・グルビッシュ ETH 社長、2. 大野滋 双日執行役員、3. 大井直樹 マエカワ・ド・ブラジル社長

〈専門セッション4(分科会)〉「イノベーションと先端技術」

モデレーター：讃井経団連常務理事

1. ジョゼ・セハドール Embraer 社 国際商務政策計画部ディレクター、2. エジムンド・ジョゼ・カヘイラ・アイレス Braskem 社 技術イノベーション担当副社長、3. 小泉慎一 東レ代表取締役副社長、4. 岩山明郎 日立ブラジル社長

〈専門セッション5(分科会)〉「農林業」

モデレーター：ペドロ・ジ・カマルゴ・ネット ABIPECS CEO

1. ルシアーノ・ペニード Fibria 社 評議会議長、2. 富島 信彦 マルチグレイン社長兼 CEO、3. 松下敏明 住友化学ブラジル社長

〈専門セッション6(分科会)〉「新テーマ」

モデレーター：白木 清司 三菱商事 常務執行役員中南米総括、

1. ルイス・エドゥアルド・メリン・ジ・カルバリョ・イ・シウヴァ BNDES ディレクター、2. ルイス・オゾリオ・リオン・フィリョ Bradesco 社最高責任者、3. 戸矢 博道 全日本空輸 顧問 4. 小西輝久 ブラジル三井住友銀行社長

ラップアップ・セッション・分科会の報告・意見交換及び総括の後に閉会マスカレーニャス・ブラジル日本経済委員長と飯島日本ブラジル経済委員長。

飯島彰己ブラジル経済合同委員会委員長の閉会挨拶

閉会にあたり、日本側を代表して一言ご挨拶を申し上げます。日伯双方のご出席の皆さまには、全面的なご協力によりまして、第14回日本ブラジル経済合同委員会を成功裡の上に終えることができ、誠に喜ばしく存じます。

当地の開催にご尽力いただきましたワグネル・パイアー州知事、マスカレーニャス委員長、ならびにサルバドールの皆さまには、日本側代表団に対する温かいおもてなしに対しまして厚く御礼を申し上げます。

さて、私どもは初日にピメンテル開発商工大臣のご臨席も得て、二日間にわたり日伯双方の経済界から、それぞれ 100 名を超す出席者が、ブラジルの新政権の下での日伯経済関係の新たな発展の可能性について分野横断的かつ網羅的に話し合うことができました。

ブラジルを代表する企業のトップに多数ご参加いただいたことは、具体的に実りのある話し合いを進める上でたいへん有益であり、ブラジルの高い対日期待を実感いたしました。

先程のラップアップセッションでもご報告のあったように、7つのセッションのそれぞれで活発かつ有意義な意見交換が日伯双方間で行われ、改めてブラジル経済が幅広い分野での発展の可能性を秘めていることを認識したところであります。

私から申し上げるまでもなく、ブラジルは豊富な天然資源と農産物の生産を誇る一方で、先進的な産業を有する有数な工業国でもあります。これを背景に、近年、世界経済を左右する経済大国の一角へと成長しつつあります。これらブラジルの資源を有効に活用することで、ブラジルの経済成長はさらに持続的で強固なものとすることができます。

そのためにも、本日の各セッションの結論を踏まえて、資源エネルギー、インフラ、環境技術、製造業、農林業、金融、ロジスティックスなどの分野での日伯の相互協力を進めることが重要かつ不可欠であると存じます。かつて経済成長加速計画、PACの母との異名をもったジウマ大統領は、今後もあらゆる経済政策を強力に推進されるものと期待しております。

これにより、今次合同会議の話し合いの成果を具体的な日伯双方の企業間協力として結実することになれば、これにまさる喜びはありません。また、そうした具体的なビジネスの積み重ねにより、日本とブラジルの経済関係がさらに発展することを心から願うものであります。

最後に、日本ブラジル経済合同委員会が今後とも両国経済人のニーズに合致した、最も重要な交流と情報交換の場であり続けるよう努力してまいりたいと存じますので、皆さまにはよろしくご支援のほどをお願いいたします。両国関係の一層の発展を祈念いたしまして、私の閉会のご挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

ジョゼ・デ・フレイタス・マスカレーニャス ブラジル日本経済委員長の閉会挨拶

最初に、日本側の経団連の飯島彰己委員長にご挨拶の言葉を申し上げます。また在日本ブラジル大使館のマルコス・ガルボン大使にも挨拶の言葉を申し上げます。マルコス・ガルボン大使は本合同委員会の発表に対し大変関心深く拝聴され、まだ大使としての活動を始められたばかりですが、日伯関係の経済の問題に対して幾つか懸念表明もされていてこれからの大使のご活躍に大いに期待を寄せています。

また、カルロス・マリアーニさん、ロベルト・ジアネッチさんとペドロ・カマルゴさんに、そしてこの会場に参加されている企業家全員の皆様に、又そして日本側の企業家の皆様全員にもご挨拶の言葉を申し上げます。

ここで私から、日本とブラジルの企業のリーダーの方々が発表されたこの 2 日間の中で、たいへん重要なテーマについてディスカッションを行うために 6 つのパネルを組み合わせ発表などが行われたことを申し上げます。

そこでは両国の社会・経済的な関係や問題について議論されました。これからは、第 14 回日伯経済合同委員会で議論された事を踏まえ問題解決に向けたチャレンジを実際の行動で示し、そして両国の投資と貿易の流れを促進して行くことが重要です。

ほぼ 40 年間にわたる日本経団連と CNI の関係は大変困難な時期を乗り越え、これからさらにこの両団体の協力関係を強化して行きます。日伯両国の経済関係において以前までは最も伝統的な部門を中心にし、情報交換を行っていましたが、現在はもっと近代的な分野を包括する新たな協力の可能性を提供する会議になりました。

それでこの相互協力関係の多様化は両国の進展を促進することを目標としなければいけません。これにより継続的でバランスよく日伯両国に利益と持続性が提供されることとなります。グローバル市場に参入する大半のブラジル企業は、どうしてもイノベーションの問題や或いはまた最新技術へのアクセスの問題と直面します。

この直面する問題は日本とのアジェンダで最優先の項目として必ず取り上げられます。この会議が提供する情報交換は、ブラジルにとって疑いなく各問題に対しての改善につながります。新たなビジネス機会もここでの合同委員会の中で発見されました。たとえば、非伝統的なエネルギーも含めたエネルギー部門では長期間の協力関係を結ぶために、エタノールがここでも発表された通りにたいへん際立つ数字のポテンシャルを示しています。

そして世界的な経済環境の中でブラジルは、さまざまな資源を用いて、コストと環境の持続性を考慮しながら現在の成長のリズムを維持するために考慮していかなければいけません。また企業自体の競争力をあげる必要性和ワールドカップやオリンピックのようなスポーツ関連の大きなイベントの事業が迫ってきていることによって、インフラ整備の改善に向け両国関係を促進する様々なビジネス機会が見出されます。

ブラジルのチャレンジは、ブラジルの生産を確保するために輸送のロジスティックスを改善することです。また道路や鉄道そして空港のメンテナンスをしなければいけません。そして何より緊急に必要なのは、港の近代化です。そういう分野で日本の民間部門の経験とノウハウの支援を受けられる機会がいくつかあります。

我々が求めている結果を見出すために、公共政策が適切に我々の要望に応じてくれるように努力をつかさなければいけません。ブラジルの企業が制度的に明快なたちで日本市場へのアクセスを可能にする重要性を強調いたします。ブラジル製品に対する関税制度、衛生植物検疫措置を無視することはできま

せん。両国間の貿易と投資の障壁をなくすためのお互いの努力は、有益なビジネス環境をつくるために根本的な問題です。お互いの協働的な活動如何にかかわっています。

最後に、第14回日伯経済合同委員会に参加された日本とブラジルの企業家全員の皆様に私から深く御礼を申し上げます。日本側の経団連の飯島彰己委員長に、日本側をリードし、ご指導していただいて誠にありがとうございます。槍田松瑩様に過去の経団連の合同委員会をたいへん優秀で建設的な形でご指導し、仕切られていたことで感謝の言葉をお伝えください。

両国の理解と協力のために本当にご尽力下さり素晴らしい活躍でした。またジャッケス・ワグネル州知事に御礼を申し上げます。今回この合同委員会に参加していただき、先日はたいへん特別な夜を我々全員にご提供くださって本当にありがとうございました。また両国の司会者の方々、両国の発表者の方々が素晴らしい発表をここで行われてそれぞれに与えられた責任をきちんと果たしたことにお礼を申し上げます。

またこの合同委員会の会議を可能としてくださった CNI、FIEB と日本経団連の職員の方々にも感謝いたします。そして我々の会議のコミュニケーションをスムーズに運んでくださいました通訳の方々に特別にお礼を申し上げます。たいへん関心を持たれて今回参加してくださった皆様、両国の良好な関係はブラジルと日本の民間部門に戦略的な意味を込められた行動の証と云えましょう。また近いうちにお会いしましょう。どうもありがとうございました。

社会保障制度/商用マルチビザ

本件については過去、日伯経済合同委員会や貿易投資促進合同委員会で取り上げてきた。社会保障協定については2006年に遡る懸案課題であったが、この所ようやく5年の歳月を経て来年3月1日から発効される。また商用マルチビザに関しては来年1月1日から発効される運びで悲願が叶えられ非常に嬉しい事である。日伯関係において歴史上の人物、会議所名誉会頭の三輪大使、ガルボン大使および名誉顧問の大部サンパウロ総領事のご尽力に対し心から敬意を表したい。

昨年11月の第4回日伯貿投委の席上、ブラジル側からの発言内容から商用マルチビザに関してはむしろ日本側のMOU合意が必要である事が判明、日伯貿投委の会合が活発な質疑応答を通じ如何に理解を深め、効率よく機能しているのか、創設者の甘利元経済産業大臣に対しても感謝の念で一杯である。

昨年の11月の東京会議に続き今年5月末、「査証手続き緩和に向けて」要請状を経団連宛に送付、経団連は「ブラジル渡航にかかる査証発給の迅速化および有効期間延長に関する要望」の書状を外務省の担当局長等に手交される手配が全て完了。松本前外務大臣がメルコスール首脳会議を終えブラジリア経由で6月30日、突然来聖する機会を捉え当方からの直訴が先になってしまったエピソードもあった。しかし来年1月1日からの発効にあたっては過去両国の関係各位による献身的かつ継続的なご尽力があったからこそ他ならない。

商用マルチビザ有効期間3年だけに満足すること無く、7月には浜田香川県知事一行とビザフリーについて意見交換、10月には西宮外務審議官に対し他国の後塵を拝する事無く、今すぐには実現できなくても継続的なチャレンジを要請、また沼田領事局長に対しても同様なお願いをした。ビザフリー協定に関しては日本の特殊事情として法務省や警察庁またマスコミにも問題がある事が分った。

9月アラブ商工会議所でピメンテル商工大臣とミゲルジョージ前商工大臣に会った機会に商用マルチビザの進捗状況を報告しお礼を述べた途端に、対米国との間では10年の有効期間であるのに何故3年なのか？と言う場面もあった。

日伯修好条約締結から116年、ブラジル日本移民103年間の歴史の中で営々と築いてきた信頼関係、両国の日伯（伯日）議員連盟のメンバーをはじめ特にブラジルを訪問する政治家を含め、両国の官民の関係者は謙虚になって歴史を反省、今まさにパラダイム・チェンジが求められている。

移転価格税制修正案

2010年12月、日伯法律委員会およびコンサルタント部会の中から移転価格税制改善陳情ミッションを組織し連邦収税局を訪問、日本進出企業の実態マージン率（現地生産16品目、再販19品目）を提出、膝を交え説明した後にブラジルの移転価格税制を可能な限りOECDの国際標準に合わせなければ日本の携帯電話技術同様、ガラパゴスの轍を踏むと警鐘を鳴らしてから早1年が過ぎた。

アメリカ会議所の税制タスクフォース・メンバーの一員として今年は2月/3月/5月/9月/12月の計5回、またサンパウロ工業連盟の国際投資家支援グループにも加わり、4月/7月/9月の計3回と両方合わせて8回の会合を重ねて来た。9月14日のFIESP会合では同月15日以降いつでも暫定令が発令されても不思議ではないとする大方の見方に対し今日12月23日現在、未だ発令されていないのは非常に残念だ。12月15日アメリカ会議所のタスクホース最終会合でも年内発令の可能性は否定されず、引き続き注意深く待機する事になっている。（財務大臣の決裁を経て官房庁に送付・承認後、年内に大統領の裁可を得るスケジュールが背景にある）

両国で未曾有な災害が発生、社会的責任活動が着実に増大

1月、リオデジャネイロ州の集中豪雨による土砂崩れや洪水などの大惨事が起り、当所会員企業34社はリオデジャネイロ州水害への義捐金としてブラジル赤十字社宛にR\$ 1,221,380、救援物資 R\$ 189,559（相当額）、合計 R\$ 1,410,939 を寄付した。

3月、観測史上前例のない巨大地震および大津波に遭遇、原子力発電所の放射能漏れの事故も重なり祖国が未曾有な国難に直面、緊急義援金として会議所会員（56社15個人）からR\$ 1,083,924 および救援物資（金額換算）R\$ 1,380,000、合計R\$ 3,059,562 を寄付した。

ポル語版の70周年記録集を出版

一人ひとりの日々の営みが歴史の一頁を創って来た。歴史の側面には時の経過とともに風化・形骸化され永遠に忘れ去られたものもある。大河の如く悠々と流れ去る歴史が現在と過去の対話であるなら、我々には史実を客観的かつ忠実に記録の形で残し後世に伝える責務がある。

1926年の会議所草創期（黎明期）から85周年にあたる意義ある今年に委員会の手を煩わさず、事務局主導でポル語に翻訳し出版出来たのは非常に嬉しい。翻訳・校正は日本語版の作成時点から各種史料の整理・分類作業を含め集中的に関った事務局職員等が中心になってその任務にあたった。

2011年12月20日

2011年度の主要行事・活動報告書

1月

01日

- シウマ・ロウセフ大統領就任式に平田事務局長が参加

10日

- 帰国労働者支援・問合せセンターの開所式（Núcleo do Apoio e informação a Trabalhadores Retornados do Exterior）カルロス・ルピ労働大臣主催 参加者はブラジル労働省幹部、労働組合代表者、日系主要団体代表者、大部一秋在サンパウロ日本国総領事、中山立夫会頭

14日

- 第1回環境委員会 今年の活動内容、スケジュールなどについて

27日

- 第2回環境委員会 8月昼食会での環境委員会講演会の開催/見学会の見積もりやスケジュールについて

28日

- 南米研究会に、ブラジル経済の第一人者の鈴木孝憲氏を講演者に招いて「ブラジル経済2010年の総括回顧と2011年の展望」について講演、平田藤義事務局長がオブザーバーとして参加

31日

- 産業商工開発省（MDIC）のアレッサンドロ・テイシェイラ・事務次官との第5回貿易投資促進委員会打合せ、その後、貿易審議会（CAMEX）のエミリオ・ガロファロ局長とも面談 中山立夫会頭、平田藤義事務局長

2月

03日

- 金融部会セミナー 講師に三井住友銀行ニューヨーク支店経営企画部金融調査室の山崎知洋上席室長代理を招いて「2011年の世界経済・金融の行方」について講演

04日

- BOP(Base of the Pyramid)ビジネスセミナー（ジェトロサンパウロ、日伯経済交流促

進委員会、コンサルタント部会共催) 35人が参加 講師はジェトロ海外調査部の稲葉公彦主任調査研究員と大木博巳主任調査研究員 テーマは「BOP ビジネスの最新トレンドと日本政府の政策的支援」

15日

- 上期の部会長シンポジウム(総務委員会・企画戦略委員会) 元日銀総裁で大和総研の武藤敏郎理事長が「日本経済の現状と今後の展望」と題して基調講演
- 「社団法人九州経済連合会 南米経済事情調査団」とのサンパウロ交流会 大部一秋総領事、中山立夫会頭ほか参加

17日

- 中部IE 南米モノづくり使節団(団長 トヨタ自動車(株)池淵浩介顧問・技監)との交流

18日

- 移転価格税制(TP)会議 (アメリカ商工会議所AMCHAM) 平田藤義事務局長出席
- フジアルテ パウリスタ事務所開設記念パーティー

22日

- 官民合同会議 (本省水上局長、三輪大使、ブラジル日本商工会議所) 42人が参加 次回貿易投資促進合同委員会に向けた協議

23日

- 米国セミナー (ジェトロサンパウロセンター、コンサルタント部会、日伯経済交流促進委員会共催) 25人参加 ジェトロ・シカゴセンターの眞銅竜日郎所長が「中間選挙後の米国政治経済の展望」と題して講演

3月

02日

- 南米3ヶ国セミナー (ジェトロサンパウロセンター、コンサルタント部会、日伯経済交流促進委員会共催) 56人が参加 ジェトロ・サンチアゴの竹下幸治郎所長は「チリ発南米事業展開 チリの特質どう生かす?」 ジェトロ・リマの石田達也所長「南米3カ国セミナー ペルー編」と題して講演
- ジェトロ役員との懇談会 (会議所役員7名及び平田事務局長参加) 石井裕晶ジェトロ理事、内尾雄介企画部事業推進主幹、澤田ジェトロサンパウロセンター所長、原次長)

11日

- 東日本大震災
- 第61回定期総会 松田雅信総務副委員長が会議所定款並びに選挙規則の部分的な改定

14日

- コンサルタント部会セミナー テーマ『日本企業の国際人的資源管理の現状と課題~「現地化」を超えた「グローバル人的資源管理」へ向けて~』セミナー/大阪商業大学総合経営学部 古沢昌之教授が講演

17日

- 日系5団体共催の東北関東大震災合同慰霊セレモニー(文協) 前田一郎日系社会委員長、

平田藤義事務局長参加

29日

- コロンビアセミナー（ジェトロサンパウロセンター、コンサルタント部会、日伯経済交流促進委員会共催）

ジェトロ・ボゴダの清水文祐所長が「新しい国づくりを目指して」と題し講演

30日

- 移転価格税制（TP）会議 アメリカ商工会議所（Amcham）暫定TP修正案などについてタスクフォースメンバーと意見交換 平田藤義事務局長出席

31日

- 「雇用や事業創出並びにインセンティブに関するZPEsプログラム」（サンパウロ商業協会主催セミナー）

4月

05日

- 中山立夫会頭の勇退挨拶及び近藤正樹新会頭の就任挨拶 記者会見
- 第3回環境委員会

11日

- パナソニック社長の交替レシヨプション ラテンアメリカ統括CEOの宇治英次氏が開催挨拶/本社のロジ部門に転勤の松田雅信社長が帰国挨拶/後任の奥村正人新社長は着任挨拶/パナソニックのアドバイザーであるフルラン元開発商工大臣やウンベルト電気電子工業界（ABINEE）会長ほか日系主要団体会長、新聞社社主、来賓等また同社の顧客・代理店に加え大勢の会議所会員が参加

13日

- サンパウロ商業会議所セミナー ブラジル貿易審議会CAMEXのエミリオ・ガロファロ上級セクレタリー

18日

- 高速鉄道セミナー（サンパウロ州工業連盟FIESP） 「高速鉄道駅周辺の開発やアクセス」についてパウリスタ都電公社CPTM企画部のシルベストレ・リベイロ取締役及びリオ州運輸局のジューリオ・ロペス局長、「地方開発と近郊都市へのインパクト」についてブラジルモノレール輸送協会（ANPTrilhos）ジョウベルト・フローレス会長、サン・ジョゼ・ドス・カンポス市のエドアルド・クリー市長、カンピーナス市のエリオ・デ・オリベイラ市長、「高速鉄道に関するテクノロジー」についてサンパウロ州立大学工学部ロベルト・スピノーラ・バルボーザ教授など、「ブラジル企業の参加並びに高度時術者の必要性」についてパウリスタ公共事情業者協会（Apeop）ルシアーノ・アマジオ会長、ABIFERのヴィクトル・アバテ会長が講演

25日

- 国際セミナー「モザンビークアグリビジネス 日伯連携協力と投資の機会」（ブラジル外務省国際協力庁 ABC、同省貿易促進部 DPR/MRE、国際協力機構主催 ブラジル農牧研究

公社 (EMBRAPA) 及びブラジル国家農業連合 CNA 後援) 講師は大島賢三 JICA 副理事長、ペドロ・アラエス伯農牧研究公社総裁、ミラデ・ムラルデ在伯モザンビーク大使、元農相ロベルト・ロドリゲス FIESP アグロネゴシオ上級審議会会長、全国農業連合会長のカーチア・アブレウ上院議員、ジョゼ・パシェコ・モサンビーク農業大臣、JICA 代表の押山和範アフリカ部長、ABC 代表 フレデリコ・パイヴァ・プロサバーナコーディネーター、Embrapa 代表 アルベルト・サンチアゴ ProSavana コーディネーター/モザンビーク投資促進センター (CPI) 代表のロウレンソ・サンボ取締役/国際ファイナンシャル・コーペレーション (IFC) のババツンデ・オニトリ副総裁/JICA 代表の梁瀬直樹 ProSavana 担当取締役/ミランダ社 (在モザンビーク企業) のアントニオ・ミランダ代表/ブラジル日本商工会議所会員企業代表で伯国三菱商事会社の近藤正樹社長 (同商工会議所会頭) /ニアサ州のダビデ・マリザネ州知事/ナンブラ州のフェリスミノ・トコリ州知事

- 国際投資家支援グループ (FIESP) 定例会合 移転価格税制 (TP) などについて協議 平田藤義事務局長出席

29日

- 国際協力銀行 (JBIC) 業務説明会 JBIC リオデジャネイロ首席駐在員 細島孝宏氏、駐在員 根本政毅氏/①輸出バンクローンの概要と活用方法/②ブラジル連邦政府・州政府関連プロジェクトへの支援/③環境改善事業における日本のビジネスチャンスについての説明会 40人が参加

5月

06日

- 第4回環境委員会

11日

- 移転価格税制 (TP) 会議 アメリカ商工会議所 AMCHAM デロイトのフェルナンド・マツス氏が「移転価格税制と最近の CARF 判決について」、ヴェイラノ弁護士事務所のヘンリー・ルマメルツ氏が「連邦政府の税制改革提案」について講演
- 異業種交流委員会セミナー 講師には人文研の辻哲三監査役を迎えて、テーマ「ブラジル文化と経済の (歴史的な) 関係について」講演

18日

- コンサルタント部会セミナー 「有限会社法の疑問点」/講師は副部会長の押切フラヴィオ弁護士

19日

- DAIKIN McQUAY AR CONDICIONADO (柴田隆秀社長) のオープニング式

24日

- 東日本大震災寄付報告に関する会議に天野一郎日系社会委員長出席

25日

- 第13回 FEIMAFE (機械フェア) /30カ国から 1300社出展 平田藤義事務局長

27日

- ブラジルの輸送インフラセミナー ミリアン・ベルシオール企画相が「PAC2 輸送インフラ投資」について講演 チヴォリホテル 平田藤義事務局長出席

6月

03日

- サンパウロ商業協会インターナショナル商業審議会主催のセミナー 経済防衛行政審議会 (CADE)のフェルナンド・フルラン会長が「自由競争と国内経済」について講演 平田藤義事務局長出席

08日

- [2011年「税制変更に関するセミナー」\(日伯法律委員会、コンサルタント部会共催\) 95人が参加 Gaia, Silva, Gaede & Associados - Advocacia e Consultoria Jurídica のエヴェリン・スピノーザ部長が「革新技术に対する優遇税制並びに国庫庁の姿勢」について/Ernst & Young Terco のデメトリオ・ゴメス・バルボーザ上級取締役は「移転価格税制の PRL60 法令と最高裁判所の標準判例の現在の相違点シナリオ」について、/PwC のエヴァニー・アパレシーダ・レイタン・デ・オリベイラ・パーセ税制担当取締役が「消費のコンセプト」について/Ueno Profit Assessoria em Controladoria のマミ・ウエノ取締役が「株式会社並びに有限会社の資本参加売買のプレミアム」について/KPMG のマリナ・ハルコ・ビヨンド・モリ間接税担当部長が「商品流通サービス税 \(ICMS\) に関する企業の慣習に関する昨年と今年の中心的疑問点」について/Trench, Rossi e Watanabe Advogados のアナ・カロリーナ・ウチマチ・シニア弁護士が「213号/2002の標準判例に関するコメント」について/Pinheiro Neto Advogados のジアンカルロ・シアマ・マタラーゾ・パートナーが「過小資本規制-Thin Capitalization」について/Deloitte Touche Tohmatsu のマウリシオ・ジャコブ・マチリン・プラド・パートナーが「2011/2010の法人所得税申告-主な変更点」について講演](#)

09日

- 異業種交流委員会セミナー ヤコン社の山下日彬社長をスピーカーに迎えて「7月からブラジルが変わる。ちょっと変わった見地からの予想」と題して講演

13日

- 経済産業省一行との意見交換会 経済産業省・通商政策局・通商機構部・風木淳参事官、経済産業省 通商政策局・通商機構部・大坪久展国際紛争対策室係長、経産省中南米室・星野室長と中山係長/ジェットロ・サンパウロセンターから澤田吉啓所長、深瀬聡之次長、筒井隆司専任理事(ソニー)、天野一郎専任理事(ヤクルト)、上野秀雄専任理事(クラシキ)、林恭平氏(NGK)、平田藤義事務局長

14日

- 第6回ロジスティック・輸送インフラセミナー(サンパウロ州工業連盟 FIESP パウロ・スカフィ会長)「空港コンセッション」「空港インフラ計画」、「岩塩層下原油開発向けロジスティック及び輸送インフラへのインパクト」、「ロジスティックコスト及びブラジルの生

産セクターの競争力」について 平田藤義事務局長

15日

- サンパウロ州工業・石油化学洋化学品工業組合（SINPROQUIM）主催のセミナー エコノミストのジョゼ・ロベルト・メンドンサ・デ・バーロス氏がテーマ「ジウマ・ロウセフ大統領の就任6カ月間の反響並びに今後の見通し」と題して講演 平田藤義事務局長

18日

- ブラジル日本移民103周年記念先駆者慰霊ミサ（文協）

26日

- 第5回環境委員会

30日

- 日系社会委員会会合 委員会活動について
- 国際協力フォーラム/サンパウロ州への投資機会（サンパウロ州政府） 平田藤義事務局長
- 松本剛明外務大臣との意見交換会（参加者松本剛明外務大臣/三輪昭在ブラジル大使/水上正史外務省中南米局長/大部一秋在サンパウロ総領事/吉田朋之外務大臣秘書官/星野芳隆中南米局南米課長/松永健大臣官房国際報道官/品田光彦総合外交政策局総務課課長補佐/近藤伯三菱商事社長/筒井ソニー社長/村田ブラジル三菱東京UFJ頭取/藤井ブラジル三井物産社長/江上双日ブラジル会社社長/天野ヤクルト商工社長/伊吹丸紅ブラジル会社社長/平田事務局長）

7月

04日

- サンパウロ州工業連盟（FIESP）の国際投資家支援グループ（GPAII）の会合 平田藤義事務局長出席

07日

- ブラジル・リチウムセミナー（企画戦略委員会主催）テーマは「ブラジルにおけるリチウム戦略」/商工開発省投資部門のエドアルド・セリーノ・ジェネラルコ-ジネーターが鉱山動力省と提携して「投資向け国家情報ネットワーク（RENAI）」/鉱山動力省鉱物産局のジョアン・セザール・ピニエイロ局長は「ブラジルにおけるリチウム生産工業」/サンタ・カタリーナ・エストレーモ・スール大学のアジルソン・オリベイラ氏は「リチウム技術開発ネットワークのプラットフォーム」/鉱物テクノロジーセンター（CETEM）のシルヴィア・フランサ女史は「EV市場のリチウム電池生産技術とチャレンジ」/セアラ州のGFコンサルティング社のグロリア・フレイタス取締役は同社のミッション、リチウムバッテリー生産や電気自動車の事業化、輸出入規制や不整備な政策などについて説明/4GVE社のフェルナンド・カストロテンアルヴェス共営者は「電気自動車試作品のブラジル技術蓄積」についてそれぞれ講演

12日

- クラレサウスアメリカ（帆足昭洋社長）開設記念式典開催

15日

- JBIC 銀行業務説明会 国際協力銀行（JBIC）リオデジャネイロ事務所の 細島孝宏首席駐在員が テーマ「日伯インフラ事業向けリアル建てファイナンスに係る JBIC と BNDES との協調」について講演

19日

- コンサルタント部会長セミナー 「ブラジル・中南米報道 行間の読み方」講師は日本経済新聞の檀上誠氏

21日

- 浜田恵造香川県知事一行と意見交換 浜田恵造香川県知事、榎本典昭県知事公室長、ブラジル香川県人会から香川幸男アリスチデス会長、香川ネルソン和男副会長、菅原パウロ農夫男副会長、福井萬里男書記

22日

- 海外邦人安全対策連絡協議会 国際協力機構（JICA）のブラジル事務所のノブユキ・キムラ・プロジェクトコーディネーターが「交番システムに基づく地域警察活動普及プロジェクト」/サンパウロ総領事館の警備・安全対策担当の脇谷領事は「最近の治安情勢と郊外農村地域における治安対策」についてそれぞれ講演

25日

- 第6回環境委員会

26日

- 第5回貿易投資促進投資委員会の取扱い議題になっている移転価格税制について会合 日伯法律委員会の筒井隆司委員長、都築慎一副委員長並びに平田藤義事務局長

8月

08日

- 第5回日伯貿易投資促進合同委員会プレナリー会合 バイア州サルヴァドル市 バイア州工業連盟（FIEB）（参加者 岡田経済産業省経済産業審議官、大前日本経団連日本ブラジル経済委員会企画部会長、近藤ブラジル日本商工会議所会頭（平田事務局長同席）、前田一郎前日系社会委員長、筒井隆司日伯法律委員長、三輪ブラジル大使 他、テイシェイラ商工開発省次官、マスカレーニャスCNI副会長、ガウヴオン駐日大使 他、ロドリゲス農務省アジア担当コーディネーター）100人が参加 テーマ「情報交換」/「貿易と市場アクセス」/「投資促進」/移転価格税制（TP）では筒井ブラジル日本商工会議所日伯法律委員長が発表

09日

- 第14回日伯経済合同委員会 バイア州サルヴァドル市 バイア州工業連盟（FIEB）日本から経団連の飯島彰巳日本ブラジル経済委員長、同委員会の大前孝雄企画部会長、三輪駐ブラジル大使、讃井暢子常任理事など120人以上が参加、ブラジルからはブラジル全国工業連盟（CNI）副会長のマスカレーニャス・ブラジル日本経済委員長、ピメンテル商工開発大臣、ワグネル・バイア州知事、ガウヴオン駐日大使、ロブソンCNI会長など120

人以上が参加/全体会合では「日伯関係の展望」をテーマ/専門セッション1の「天然資源・エネルギー」/＜専門セッション2＞「インフラ」/、ブラジル三菱東京UFJ銀行の村田俊典頭取は「東日本大震災と日本経済」/ブラジル日本商工会議所の近藤正樹会頭は商工会議所のこれまでの歴史・活動などについて講演 250人が参加

10日

- 第14回日伯経済合同委員会 開催場所同上＜専門セッション3(分科会)＞「環境技術と再生可能エネルギー」/(分科会)＜「イノベーションと先端技術」/＜専門セッション5(分科会)＞「農林業」/＜専門セッション6(分科会)「新テーマ」/日立ブラジルの岩山 明郎社長 /住友化学ブラジルの松下 敏明 社長 は自社の歴史や事業を紹介/ブラジル三井住友銀行の小西輝久社長 がそれぞれ講演 250人が参加

15日・16日

- 第12回国際エネルギー会議（サンパウロ州工業連盟 FIESP 主催）社会経済開発銀行（BNDES）のラテンアメリカ統合の見通し並びに統合プロジェクトファイナンス、Eletrobras/FIESP プロジェクトの紹介並びにジョゼ・セーラ元サンパウロ州知事の講演

18日

- デロイト・ブラジル 2015 フォーラム（ブラジルデロイト社設立 100 周年記念）
- 清水オリジオ氏表彰祝賀会 天野一郎日系委員長参加

23日

- 下期の部会長シンポジウム（総務委員会・企画戦略委員会）

30日

- 在サンパウロ大韓民国総領事館とビザに関する意見交換

9月

01日

- 「税制タスクフォース」会議 国庫庁の税収担当のクラウジア・ピメンテル・コーディネーターが暫定課税方式（RTT）について講演 アメリカ商工会議所 平田藤義事務局長出席

04日

- ノーベル化学賞・鈴木章博士の講演会（ブラジル日本文化福祉協会）

12日

- ブラジル治安対策会議（FIESP主催） 国際連合ハイチ支援団司令官のルイス・ギリエルメ・クルース・サンパウロ州第5軍次官が「公共治安対策の統合」について/ 2010年ワールドカップ安全審議会のベン・グロエネヴァルド高官が、国際大イベントにおける治安の見通しについて「FIFA 2010ワールドカップ 南アフリカの経験」をテーマとし、南アフリカ共和国の経験に基づいた貴重な講演/開会挨拶ではFIESP安全部会筆頭理事のリカルド・レルネール副会頭、ジョゼ・リカルド・ポテーリョ大イベント向け臨時保安長官、エロイザ・デ・ソウザ・アルーダ・サンパウロ州民防衛・法務長官、ジョゼ・エドアルド・カルドーゾ法相、FIESPのパウロ・スカフェ会長

- ドイツ商工会議所が同国の経済協力・開発大臣と懇親夕食会 ディルク・ニーベル (Dirk Niebel) 連邦経済協力・開発大臣が、ドイツ政府の新経済・開発政策について講演 平田藤義事務局長

13日

- [固形廃棄物法について意見交換会 食品部会 \(天野一郎部会長\) 法規や規制などに不明な点が多く、3月のパラナ州政府環境局よりのアクションプランの提出依頼、8月のサンパウロ州政府環境局からの回答要請、ブラジル食品業界\(Abia\)、リサイクル業者の組織化や育成支援を目的として設立された NPO 法人の Cempre パラナ州産業廃棄リサイクル推進機関の Instituto Lixo&Cidadania との協賛、支援、啓蒙活動、プロジェクトの展開や今後のスケジュールや意見交換方法など多岐に亘って話合った。](#)

14日

- 国際投資家支援グループ (FIESP) の定例会合 移転価格税制 (TP) などについて意見交換 平田藤義事務局長出席
- 異業種交流委員会セミナー 講師はジェトロ・サンパウロセンターの紀井 寿雄調査担当ディレクターがタイトル:「大統領選直前のアルゼンチン」と題して講演

19日

- ジェトロ・インフラビジネス・ミッション 開発商工省共催セミナー
第1部 共催者挨拶 Eduardo Celino 開発商工省コーディネーター ブラジル経済総論 Alexandre Rocha Pundek 中銀顧問
第2部 パラナ州紹介とW杯インフラ計画パラナ州企画局 Rosane Gonçalves 女史、マトグロッソ州紹介とW杯インフラ計画 Pedro Nadaf マトグロッソ州産業通商鉱業エネルギー局長

20日

- ジェトロ・インフラビジネス・ミッション サンパウロ州政府共催セミナー (Blue Tree Premium Paulista)
第1部 サンパウロ州の投資誘致環境について Investe SP Luís Fernando Arbex マネージャー
W杯計画とビジネスチャンスについて SP 州 Raquel Verdenacci W杯委員会代表
第2部 サンパウロ州の都市交通計画紹介 SP 州企画局 Marcelo Peixoto Vieira 氏
ブラジルの空港計画紹介 Infraero Andre Luiz de Lima 氏
- ジェトロ・インフラビジネス・ミッション FIESP 共催セミナー・商談会 (FIESP 内会場)
第1部 (14:30-15:20)・開催挨拶 Thomaz Zanotto FIESP 国際関係貿易局長
ブラジルのインフラ投資について カルロス貿易局インフラ局長
インフラ整備が日本の経済発展に果たしてきた役割 大部総領事
第2部 日本企業プレゼンテーション
パナソニック Comprehensive Solutions について Roy Kobayakawa
日置電機 Hioki E.E,Corporation について Yasunao Takano
日本カーバイド Introduction of NCI Group について Tatsuo Tsukada

日立製作所 Transportation Systems について Toshiro Iwayama

21日

- 平成23年春の叙勲伝達式（総領事館公邸）、同日後に文協で祝賀会開催 池崎博文氏と渡部和夫氏

22日

- 空調用新冷媒R-32に関するワークショップ

26日

- アラブ商工会議所主催昼食会 フェルナンド・ピメンテル開発商工大臣を講師に招いた昼食会 平田藤義事務局長
- FIESP(サンパウロ州工業連盟) 及び CIESP (サンパウロ州工業センター) の新理事及び監査顧問就任式典 平田藤義事務局長出席

27日

- コンサルタント部会（都築慎一部会長）主催のセミナー『ブラジルでの人事管理上、日本人管理者がブラジル人の性格や社会習慣を考慮してどのような点につき注意したらよいか』講師は人材紹介会社 Authent 社社長の破入マルコス氏

30日

- サントス地区下水処理場見学会 環境委員会（廣瀬孝委員長）及び JICA（芳賀克彦所長）共催 SABESP（Companhia de Saneamento Básico do Estado de São Paulo；サンパウロ州上下水道公社）-JICA が推進をしている ONDA LIMPA プロジェクトの一環として整備をされた Mambu-Branco 上水道システム、Mongaguá 下水処理場、Praia Grande 下水中継ポンプ場、そしてビル建屋内に下水処理設備を全て収納させた都市型の処理施設であるサントス下水処理場を見学、SABESP/Jose Luiz 部長が同社の取り組みについて説明

10月

05日

- 西宮外務審議官とのサンパウロ在住の経済界との意見交換会 ①近藤会頭（伯国三菱商事社長）②筒井副会頭（ブラジルソニー社長・日伯法律委員長）③澤田専任理事（ジェットロサンパウロ所長・企画戦略委員長）④江上専任理事（双日ブラジル社長・相互啓発委員長）⑤天野専務理事（ブラジルヤクルト商工社長・日系社会委員長）⑥伊吹専任理事（丸紅ブラジル社長・特命担当）⑦小西様（ブラジル三井住友銀行社長）⑧岸上様（ブラジルホンダ）⑨平田事務局長

06日

- 第2回国際協力フォーラム サンパウロ州政府（ジェラルド・アウキミン知事）主催 ジェラルド・アウキミン州知事及びブルーノ・コバス環境局長はフォーラムの中で、「生物多様性=バイオディバーシティ」に関するコミッションまた環境保護区プロジェクトの発足を発表。アウキミン知事は発足の条令に署名 近藤正樹会頭参加

10日

- 海外安全管理セミナー 外務省主催 講師は危機管理コンサルタントの(株)亀屋の山崎正晴代表取締役 80人が参加

14日

- 臨時理事会/特命担当から委員会組織への名称変更、70周年記念委員会の廃止を承認
- Espaço Kazu オープン式に参加

17日

- 第7回環境委員会
- 外務省沼田領事局長との会談 ビザ発給、外国人登録等の問題について商工会の日系企業関係者との会談に会議所役員及び事務局長が参加 会議所参加者：伊藤 友久/藤井 晋介/和田 亮/村田 俊典/天野 一郎/廣瀬 孝/平田 藤義

18日

- KBK DO BRASIL (極東貿易株式会社ブラジル現地法人)の開所式

23日

- ブラジル日本研究者協会(SBPN)主催の第4回日伯交流シンポジウム 竹中平蔵元大臣を招いての懇談会 藤井晋介副会頭参加

24日

- 平成23年度外務大臣表彰伝達式 (総領事館公邸)
- 新潟日報社(代表取締役社長 高橋道映)とサンパウロ新聞社(代表取締役社長 鈴木雅夫)の協力関係提携オープン式 伊藤友久副会頭

25日

- [ウルグアイ・ビジネスセミナー\(在ウルグアイ日本大使館\)](#) [ウルグアイ・モンテビデオ市](#) 会議所役員、会員多数が参加

[26日](#)

- [ソナムリカフリーゾーン見学会\(在ウルグアイ日本大使館\)](#) [ウルグアイ・モンテビデオ市](#) 会議所役員、会員多数が参加

31日

- 通信に関するセミナー(サンパウロ州工業連盟主催) 平田藤義事務局長

11月

04日

- 「ブラジルの魚：日伯貿易に於ける機会と挑戦についてのセミナー」(水産省) テーマ「ブラジルの漁業 日伯貿易拡大のチャンス」について水産省のマリア・アパレシーダ・ペレス副大臣が講演

11日

- トカンチンス州投資誘致セミナー 企画戦略委員会(澤田吉啓委員長)、特命担当委員会(伊吹洋二委員長)、トカンチンス州政府及び国際協力機構(JICA)ブラジル事務所共催

17日

- 日立国際リネーアール社：創立記念パーティー

21日

- 日本貿易振興機構（JETRO）が商談視察ミッション 省エネ、新エネ、環境分野の技術・製品のブラジル展開を考えている企業向けにグリーン・エネルギーと環境技術をテーマに日伯ビジネスフォーラム・商談会/ピセンチ・パウロ・ダ・シルバ連邦下院議員/開発商工省（MDIC）のエドワルド・セリノ投資促進コーディネーター、環境省（MMA）のナビル・ボンドウキ局長、サンパウロ総領事館の大部一秋総領事/経済産業省（METI）資源エネルギー庁三浦聡国際室長、民間側リーダーの田中嘉郎前川製作所株式会社社長 80人が参加

23日

- GIE（外国人投資家グループ）ジョエル・コーン議長と当会議所役員諸氏と意見交換会 藤井 晋介副会頭（日伯経済交流促進委員長：ブラジル三井物産社長）、杉本 靖（同副委員長：ブラジル三井物産取締役）深瀬 聡之（同副委員長：JETRO サンパウロ次長）、伊吹洋二専任理事（特命担当委員長：丸紅ブラジル会社社長）、平田事務局長
- サントス FC クラブ・ワールド・カップ参加訪日歓迎レセプション （総領事公邸） 近藤正樹会頭出席

28日

- 中小企業視察ミッションを迎えてのセミナー 第2回ブラジル経済ミッション（磐田信用金庫主催）を迎えて 会議所大会議室にて平田事務局長がブラジル経済について講演、セルジオ・ワタナベ会長がブラジルの建設業界について、会員企業の Lautenschleger, Romeiro e Iwamizu 弁護士事務所のマリオ・イワミズ共営者が日伯二重課税防止協定や労働訴訟などについて講演。磐信から高柳裕久役員他5人/企業ミッション5人/

29日

- ブラジル真贋判定セミナー / 知的財産保護に関する勉強会 企画戦略委員会（澤田吉啓委員長）、日伯経済交流促進委員会（藤井晋介委員長）、在ブラジル日本大使館並びにジェトロ・サンパウロ事務所共催

12月

01日

- 日系社会委員会 サンパウロ人文研の「ブラジル日本移民・日系社会史年表増補版」のPR協力などについて

02日

- 環境委員会主催「トロピカル・フローラ社植林サイト見学会」（昨年に続き第2回目）

07日

- 天皇誕生日祝賀会（総領事館公邸）

08日

- 会議所忘年会 — 事務局主導での70周年記念集ポルトガル語版刊行発表、当日参加した会員企業に贈呈（他の会員企業には後日渡す）。プロサッカー選手三浦知良「カズ」が特別

ゲストとして参加

12日

- 東京三菱UFJ銀行懇談会 為替に関する講演会

13日

- 平成23年秋の叙勲伝達式（総領事館公邸）、同日後に文協で祝賀会開催 田中信氏（会議所第15代会頭、旭日双光章）、遠藤浩氏（旭日単光章）

15日

- 税制タスクフォース会合 アメリカ会議所（AMCHAM）主催 平田藤義事務局長

19日

- 希望の家社会福祉協会（上村恵ジャイロ理事長）への大会議室会議机譲渡式（村田俊典財務委員長）

(2011年12月23日)

2011年12月のブラジル日本商工会議所活動状況の纏め

ブラジル日本商工会議所
事務局

I ブラジル日本商工会議所の活動の変化

会議所活動状況(2011年12月23日)

項 目	2008年	2009年	2010年	2011年
懇親昼食会、夕食会、忘年会、新年会	12	12	12	12
歓迎・送会(大使、総領事、常任理事他)	5	3	3	3
部会の開催件数(部会・長シンプ、共催)	27	34	25	24
委員会の開催件数(異業種交流委員会)	20(10)	21(9)	23(8)	19(3)
同上(会議所外 GIE・CDM会合、FIESP等他の公的機関)	1	2	6	3
日系諸団体との会議(日系代表5団体ほか)	10	7	2	2
月例会の件数(法律、労働問題)	18	21	22	19
総会・臨時理事会	5	3	5	3
セミナー、イベントの開催件数(共催)	15	14	15(5)	19(7)
研修旅行(大・小旅行相互啓発主催)	0	0	0	0
工場・農場見学相互啓発主催(委員会)	0	0	1	2
同 上(部会主催)	1	3	1	0
他の団体との会議・シンプ・セミ・フォーラム(官民合同、経団連、FIESP訪日ミッション、全伯日系会議所、日伯議員連盟、他州ほか)	11	15	14	38
他団体主催のイベントへの参加	66	41	53	42
監事会、常任理事会の開催件数	16	16	17	15
表敬訪問件数	155	147	151	157
新聞社訪問件数(部会長懇談会案内他)	4	2	2	2
アンケート調査件数	5	3	4	11
各種調査依頼数(日本からの調査依頼)		61(52)	139(118)	126(120)
会員からの提言件数	0	0	0	0
分科会の設置件数	0	0	0	0
昼食会の知事、大臣レベルの出席回数	3	1	2	1
会議所ホームページ・累計ページビュー数	2251995	3472251	4145404	4764163
ブラジル経済情報の送付件数	214	207	205	203
事務局便りの送付件数(外部団体主催含む)	50	55	46	69
前年度比較における新しい試みの件数(下記項目別詳細)	-	-	-	-

注釈) 件数は()内の共催数を含む。 日本進出企業の製造業企業数 116 社、サービス業企業 49 社(2010年1月現在) 2011年12月の日本語サイトページビュー39355 ポルトガル語 30511

2010 年度定例懇親昼食会の状況

月	参加者 (人)	2011 年度 講演者名	2010 年度 講演者名	2011 年度利用 ホテル名
1	170 人	三輪昭在ブラジル日本国特命 全権大使	島内憲大使/170 人	ブルーツリーモルン ビー・ホテル
2	120 人	ミナス・ジェライス州開発統合 院 (INDI) のマウリシオ・デ・ オリベイラ・セシリオ投資促進 部長	エスタード紙の著名なコラム ニストであるセルソ・ミンギ 氏/102 人	インターコンチネン タル・ホテル
3	130 人	大部一秋総領事	ブラデスコ銀行マクロ経済調 査担当のオタビオ・バーロス 取締役/102 人	マクソウド・ホテル
4	100 人	アルナルド・ファリア・デ・サー下 議	元社会保障大臣で医薬品研究 開発協会のアントニオ・ブリ ット会長/90 人	ブッフエ・コロニアル
5	105 人	フランシスコ・タルキニオ・ダルト MT 副知事	日系初のジョージ・ヤナイ上 院議員/100 人	インターコンチネン タル・ホテル
6	120 人	在サンパウロメキシコ総領事館 のホセ・ヘラルド・エルナンデス 総領事	Electra Power Geração de Energia 社のヴァウモール・ アウヴェス社長/100 人	チボリ・ホテル
7	100 人	在ウルグアイ日本国大使館 佐 久間健一 特命全権大使/熱帯 森林保護団体 (Rainforest Foundation Japan)の南研子代表	通信省のロベルト・ピント・ マルチンス次官/125 人	マクソウド・ホテル
8	100 人	貿易審議会 (CAMEX) のエミリ オ・ガロファロ・フィーリョ局長	環境コンサルタントのマルセ ロ・ロッシヤ氏/100 人	ブッフエ・コロニアル
9	110 人	三菱東京UFJ銀行ロンドン支店 欧州市場部の武田紀久子シニア カレンシーエコノミスト	在ブラジル日本大使館政務班 長の澤田洋典参事官/100 人	インターコンチネン タル・ホテル
10	100 人	アジア諸国で大使を歴任した ジャジエル・フェレイラ・デ・ オリヴェイラ氏	竹中平蔵元 金融大臣 /160 人	マクソウド・ホテル
11	100 人	ジョゼ・ウィルソン・シケイラ・カン ポス・トカンチンス州知事	プライスウォーターハウスク ーパー社のマルセロ・シオフ ィ・パートナー兼ブラジル自 動車産業部門リーダー/90 人	インターコンチネン タル・ホテル
12	200 人	キングカズこと横浜 FC の三浦 知良氏	マルコス・ガルボン在京ブラ ジル大使/160 人	チボリ・ホテル

参考資料:会員の推移

1)2011 年度月次国籍別の会員

Mês 月	入退会 残	Origem 国籍						TOTAL 合計	OBS
		Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジ ル	Estran 外資	Total 計 Empresas	PF 個人		
1	Adesão	2	0	0	0	2	0	2	
	Desliga	0	1	1	0	2	0	2	
	Saldo	172	92	37	20	321	6	327	
2	Adesão	0	1	0	0	1	0	1	
	Desliga	0	1	0	1	2	0	2	
	Saldo	172	92	37	19	320	6	326	
3	Adesão	1	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	173	92	37	19	321	6	327	
4	Adesão	3	0	2	0	5	0	5	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	176	91	39	19	325	6	331	
5	Adesão	0	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	1	0	1	1	2	0	2	
	Saldo	177	91	38	18	324	6	330	
6	Adesão	3	1	0	0	4	0	4	
	Desliga	1	1	0	0	2	0	2	
	Saldo	179	91	38	18	326	6	332	
7	Adesão	1	1	0	0	2	0	2	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	180	92	37	18	327	6	333	
8	Adesão	1	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	1	2	0	0	3	0	3	
	Saldo	180	90	37	18	325	6	331	
9	Adesão	0	0	1	1	2	0	2	
	Desliga	0	1	2	1	4	0	4	
	Saldo	180	89	36	18	323	6	329	
10	Adesão	2	0	1	0	3	0	3	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	182	88	37	18	325	6	331	
	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	

11	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	182	87	37	18	324	6	330	
12	Adesão	0	1	1	0	2	0	2	
	Desliga	1	0	0	0	1	0	1	
	Saldo	181	88	38	18	325	6	331	
入会	Adesão	14	4	5	1	24	0	24	
退会	Desliga	3	9	5	3	20	0	20	
残	Saldo	181	88	38	18	325	6	331	

2) 年度/国籍別の会員推移

ANO 年	入退会 残	Origim 国籍						PF 個人	TOTAL
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasileiras ブラジル	Estrangeiras 外資	Sub 計	Soma 合計		
2000	Adesão	1	6	3	1	9	11	3	14
	Desliga	3	2	0	0	2	5	0	5
	Saldo	156	83	34	17	134	290	3	293
2001	Adesão	2	3	2	0	5	7	11	18
	Desliga	3	7	4	0	11	14	0	14
	Saldo	155	79	32	17	128	283	14	297
2002	Adesão	2	4	1	0	5	7	0	7
	Desliga	7	2	6	1	9	16	0	16
	Saldo	150	81	27	16	124	274	14	288
2003	Adesão	7	7	9	2	18	25	3	28
	Desliga	14	2	4	1	7	21	2	23
	Saldo	143	86	32	17	135	278	15	293
2004	Adesão	5	10	8	2	20	25	3	28
	Desliga	7	3	6	1	10	17	5	22
	Saldo	141	93	34	18	145	286	13	299
2005	Adesão	11	5	7	4	16	27	4	31
	Desliga	8	9	5	4	18	26	4	30
	Saldo	144	89	36	18	143	287	13	300
2006	Adesão	7	9	5	1	15	22	2	24
	Desliga	4	2	5	0	7	11	3	14
	Saldo	147	96	36	19	151	298	12	310
	Adesão	8	7	8	1	16	24	0	24

2007	Desliga	2	11	10	1	22	24	0	24
	Saldo	153	92	34	19	145	298	12	310
2008	Adesão	7	5	1	2	8	15	0	14
	Desliga	3	7	2	3	12	15	2	17
	Saldo	157	90	33	18	141	298	10	308
2009	Adesão	11	8	4	3	15	26	1	27
	Desliga	3	6	5	4	15	18	1	19
	Saldo	165	92	32	17	141	306	10	316
2010	Adesão	7	8	11	4	23	30	0	30
	Desliga	2	7	5	1	13	15	4	19
	Saldo	170	93	38	20	151	321	6	327
2011	Adesão	14	4	5	1	10	24	0	24
	Desliga	3	9	5	3	17	20	0	20
	Saldo	181	88	38	18	144	325	6	331

3) 業種別部会/国籍別毎の会員数

業種別部会/国籍別毎の会員数 表-3

2011年12月現在

Nº	Dep 部会	Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジル	Estrang 外資	Soma 計	PF 個人	TOTAL
	Dez-10	181	88	38	18	325	6	331
1	Automotivo 自動車	25	2	0	1	28	0	28
2	Comércio Exterior 貿易	23	5	1	0	29	0	29
3	Construção e Imobiliária 建設	4	8	1	0	13	0	13
4	Consultoria e Asses コンサル	3	26	24	6	59	5	64
5	Eletroeletrônico 電気電子	26	3	2	0	31	0	31
6	Fiação e Tecelagem 繊維	8	1	0	0	09	0	09
7	Financeiro	11	5	5	2	23	0	23

	金融							
8	Gêneros Alimentícios 食品	11	5	1	1	18	0	18
9	Metal-Mecânica 機械金属	36	7	1	1	45	1	46
10	Produtos Químicos 化学	22	1	0	0	23	0	23
11	Transportes e Serviços 運輸	12	25	3	7	47	0	47